

奥尻町読書活動推進計画 (第2次)

令和8年度～令和12年度



奥尻町教育委員会

目 次

はじめに	1
Ⅰ 読書活動の意義と背景	
Ⅱ 現状と課題	
Ⅲ 計画の期間	
Ⅳ 取組の方向性	
実施計画	2~4
1 家庭・地域における読書活動の推進と環境づくり	
2 学校との連携・協働による読書活動の推進と環境づくり	
3 海洋研修センター図書室における読書活動の推進と環境づくり	
参考資料	
奥尻町海洋研修センター図書室の現状	5
奥尻町読書活動推進計画に関するアンケートまとめ	6
奥尻町読書活動推進計画に関わる学校アンケートまとめ	11

【 は じ め に 】

I 読書活動の意義と背景

読書活動には、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、自主的に読書活動を行うことができるよう、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要である。（文部科学省 子供の読書活動の推進に関する法律より抜粋）

また、読書は社会とも密接な関係にあります。社会は人と人つながり、共に支え合う事で成り立っています。他者との関係を築き、自ら納得できる幸福な人生を切り拓いていく上で不可欠なのは言葉であり、より豊かな言葉やイメージによるコミュニケーションの力を養うのは読書です。（「国民の読書推進に関する協力者会議」報告書より抜粋）

II 現状と課題

奥尻町では町内に書店がなく、町民に対する読書に関するアンケート結果より町民が本を読むためには図書館で本を借りたり、島外に出たときに書店で購入またはインターネットで購入したりしている現状があります。また、島内でも図書館から遠い地域の住民の図書館の利用率は低い状況です。働いている大人は忙しいこともあり、読書時間が少ない傾向も見られます。

学校においても言語活動の充実が求められています。学校図書館を利活用した朝読書や委員会活動での読書推進活動、ビブリオバトルなどの活動に加え、道立図書館や町図書館と連携し、地域人材による本のよみきかせや大量貸出などにより、読書活動の充実を図っています。

このような現状から、人の成長や発達段階に応じて、本との出会いの場の提供、読書に親しむ機会の拡充などの読書活動の推進を図る必要があります。また、町民との連携協働による読書活動の推進を図っていくことも必要です。

III 計画の期間

本計画は令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とし、5年ごとに更新される奥尻町社会教育中期5カ年計画と時期を合わせて更新します。

IV 取組の方向性

現状と課題から次の3点を取組の方向性として位置づけ、読書活動の推進に取り組みます。

- 1 家庭・地域における読書活動の推進と環境づくり
- 2 学校との連携・協働による読書活動の推進と環境づくり
- 3 海洋研修センター図書館における読書活動の推進と環境づくり

【 実 施 計 画 】

1 家庭・地域における読書活動の推進と環境づくり

〈具体的な取組〉

○事業展開

- ・乳幼児健診時におけるブックスタートの実施
- ・家読推進に向けた啓発
- ・子供を対象とした読み聞かせの実施
- ・ボランティア活用及び養成（家庭教育支援との連携）

○環境づくり

- ・図書室児童閲覧コーナーの充実



2 学校との連携・協働による読書活動の推進と環境づくり

〈具体的な取組〉

○事業展開

- ・奥尻町海洋研修センター図書室によるブックボックスサービスの実施
- ・新小学1年生への図書貸出カード作成のお願い
- ・図書だよりの送付
- ・読み聞かせボランティアによる学校での本のよみきかせの実施
- ・学校における読書推進活動（全校読書など）
- ・学校図書館と海洋研修センター図書室との連携
- ・北海道立図書館の学校図書館支援事業を活用した読書活動推進の取組

○環境づくり

- ・学校図書館図書標準の達成に向けた資料の整備
- ・学校司書配置の検討



3 海洋研修センター図書室における読書活動の推進と環境づくり

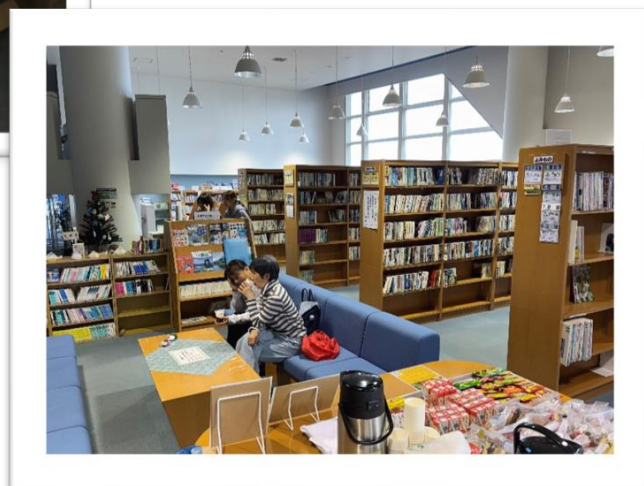
〈具体的な取組〉

○事業展開

- ・道立図書館と連携した企画展示の実施
- ・図書購入に関するリクエストの募集
- ・図書室以外の図書返却場所の検討
- ・古本市の開催
- ・図書室カフェの実施
- ・図書だよりの発行
- ・町民への広報活動

○環境づくり

- ・図書館資料の収集と提供
- ・図書展示の充実



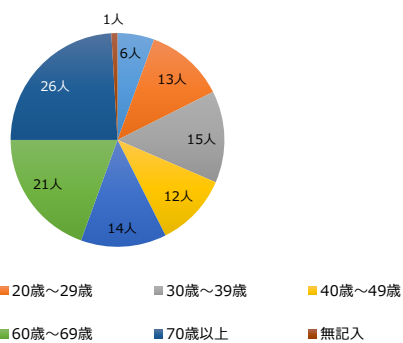
住 所	奥尻郡奥尻町字奥尻町字奥尻 314 番地地先		
電 話	01397-2-3890 FAX 01397-2-3891		
開館時間	火～金 9:00～21:00 (4月～10月)、9:00～20:00 (11月～3月) 土・日・祝 9:00～17:00 月曜及び年末年始休館		
貸出時間	2 週間		
年間開館数			
今年度	283 日		
前年度	253 日		
蔵書数	16,269 冊		
図書購入予算	277,000 円 (前年度 同額)		
入冊数	266 冊 (前年度 310 冊) (一般用図書 57 冊、児童用図書 42 冊、雑誌 66 冊、寄贈 101 冊)		
個人貸出冊数	1,160 冊 (前年度 1,249 冊、2023 年度 1376 冊)		
人口一人あたりの			
貸出冊数	1.78 冊 (前年度 1.67 冊、2023 年 1.60 冊)		
R7 年度に実施した主な事業、業務	<ul style="list-style-type: none"> ・よみきかせ (年 10 回) ・図書だより発行 (年 3 回) ・ブックスタート ・古本市開催 ・うみいろ café ・文学館出前講座 (岸田 典大さんによるよみきかせ) ・企画展示 (子どもの読書週間) ・ブックボックスサービス ・小学校よみきかせ 		

奥尻町読書活動推進計画に関するアンケート

調査回答率 200 人中 108 人 (54 %)

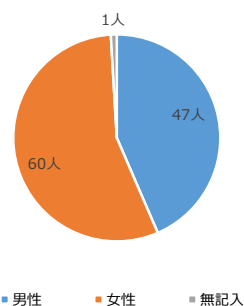
問1 年齢

年代	回答数	調査対象回答率
ア 15歳～19歳	6人	20人 30%
イ 20歳～29歳	13人	20人 65%
ウ 30歳～39歳	15人	30人 50%
エ 40歳～49歳	12人	30人 40%
オ 50歳～59歳	14人	30人 47%
カ 60歳～69歳	21人	30人 70%
キ 70歳以上	26人	40人 65%
無記入	1人	- 1%
合計	108人	200人 54%



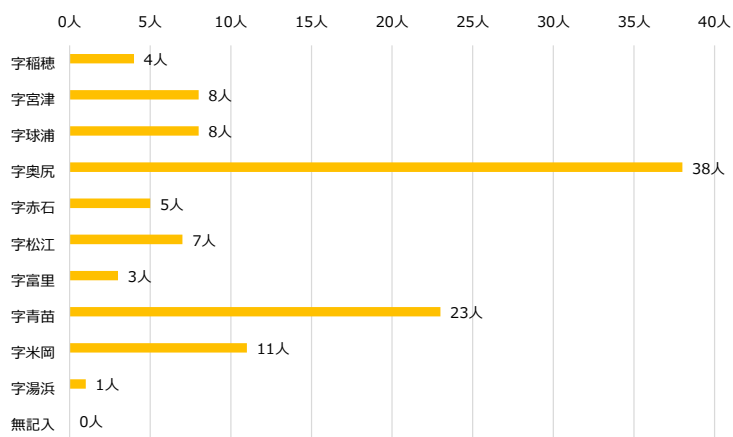
問2 性別

ア 男性	47人
イ 女性	60人
ウ 無記入	1人



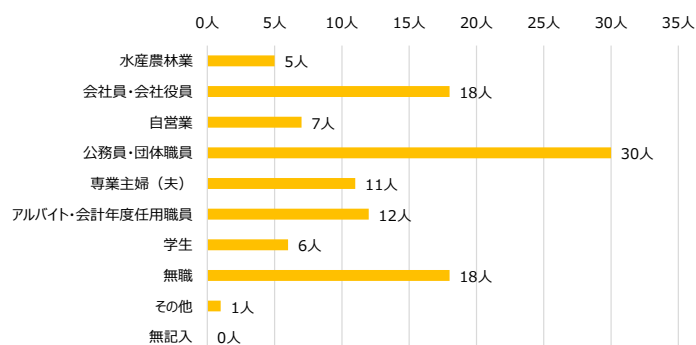
問3 住所

ア 字稲穂	4人
イ 字宮津	8人
ウ 字球浦	8人
エ 字奥尻	38人
オ 字赤石	5人
カ 字松江	7人
キ 字富里	3人
ク 字青苗	23人
ケ 字米岡	11人
コ 字湯浜	1人
無記入	0人
合計	###

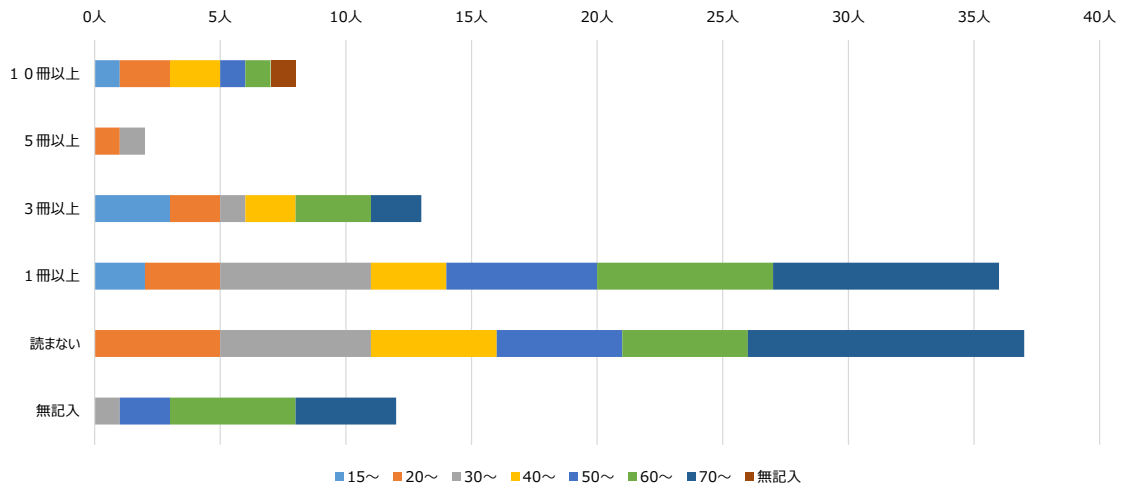


問4 職業

ア 水産農林業	5人
イ 会社員・会社役員	18人
ウ 自営業	7人
エ 公務員・団体職員	30人
オ 専業主婦（夫）	11人
カ アルバイト・会計年度任用職員	12人
キ 学生	6人
ク 無職	18人
コ その他	1人
無記入	0人
合計	###

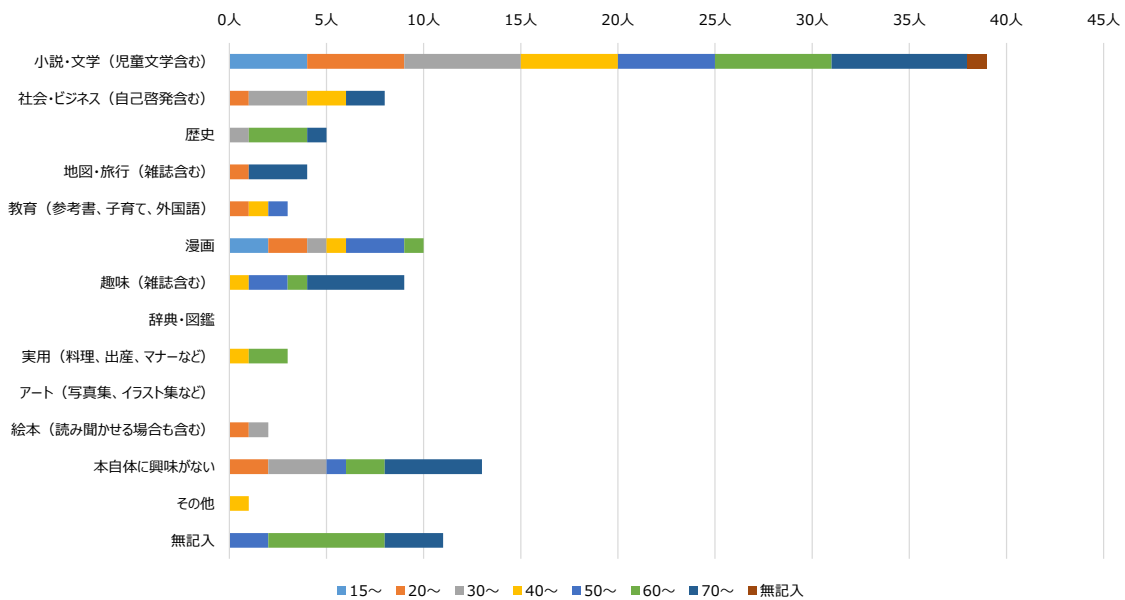


問5 あなたは普段月に何冊くらい本を読みますか。（電子書籍含む）



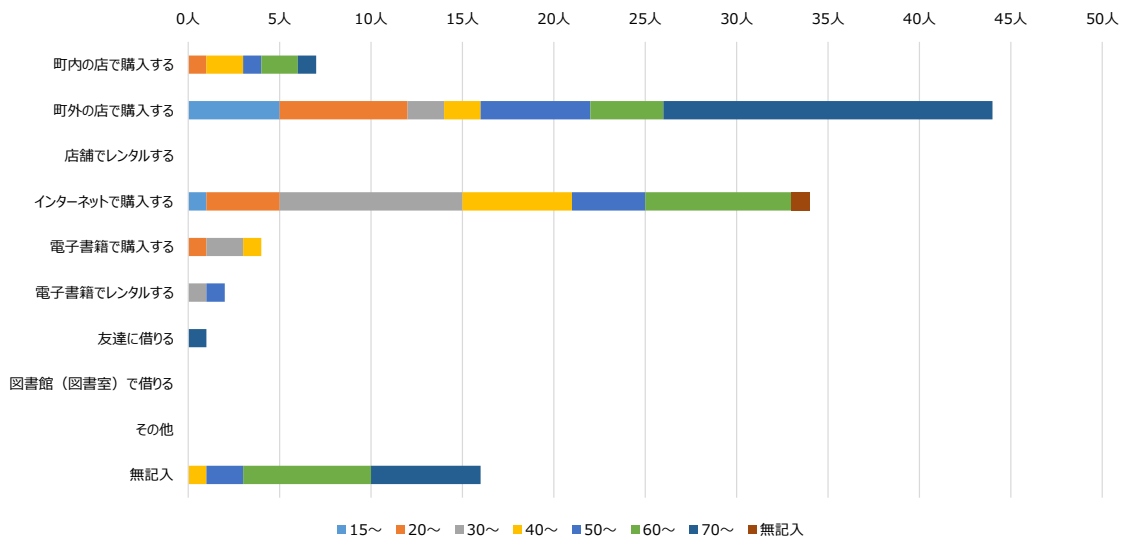
考察
「月に1冊以上」「読まない」の割合が多く、普段あまり本を読む習慣がないことがうかがえる。

問6 どんな種類の本に興味がありますか。（3つまで選択可）



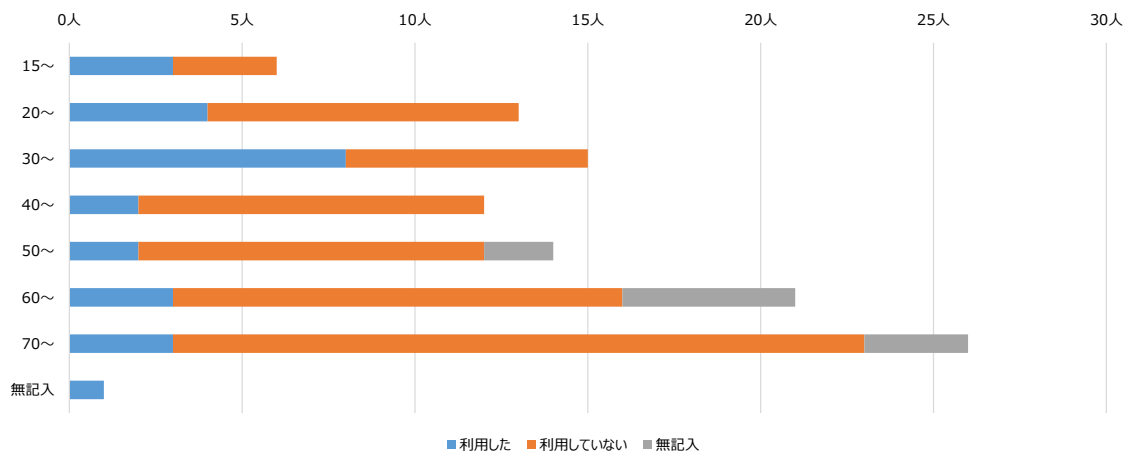
その他 ・読みたいが時間がない
考察
やはり、「小説・文学」が一番多く、「漫画」「趣味」にも興味がある事がうかがえる。

問7 あなたは欲しい本をどのようにして手に入れますか？



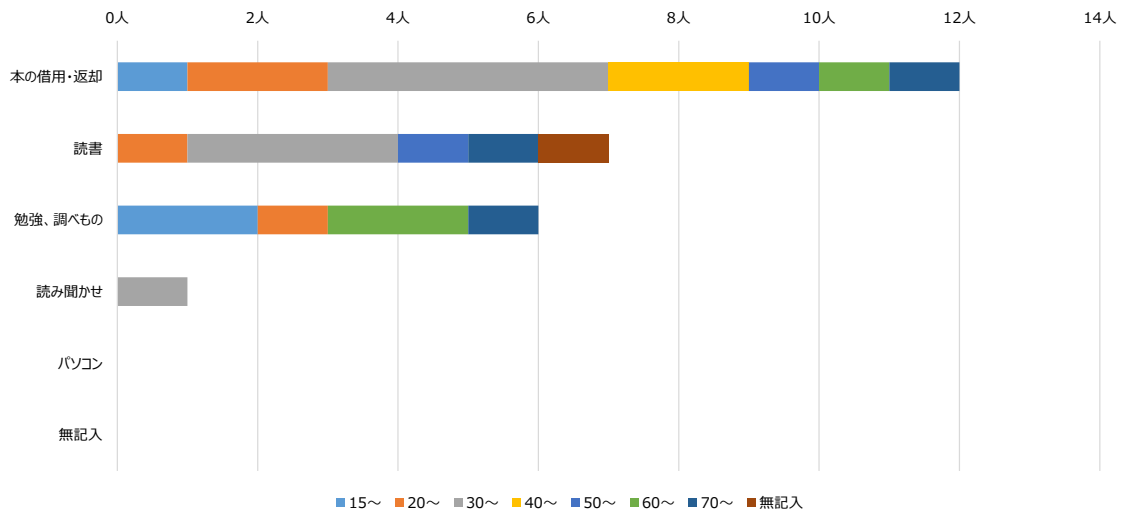
考察
奥尻町では書店がないため、町外の書店やインターネットで購入する方々が多い。

問8 今年1年間で奥尻町海洋研修センター図書室を利用したことはありますか？



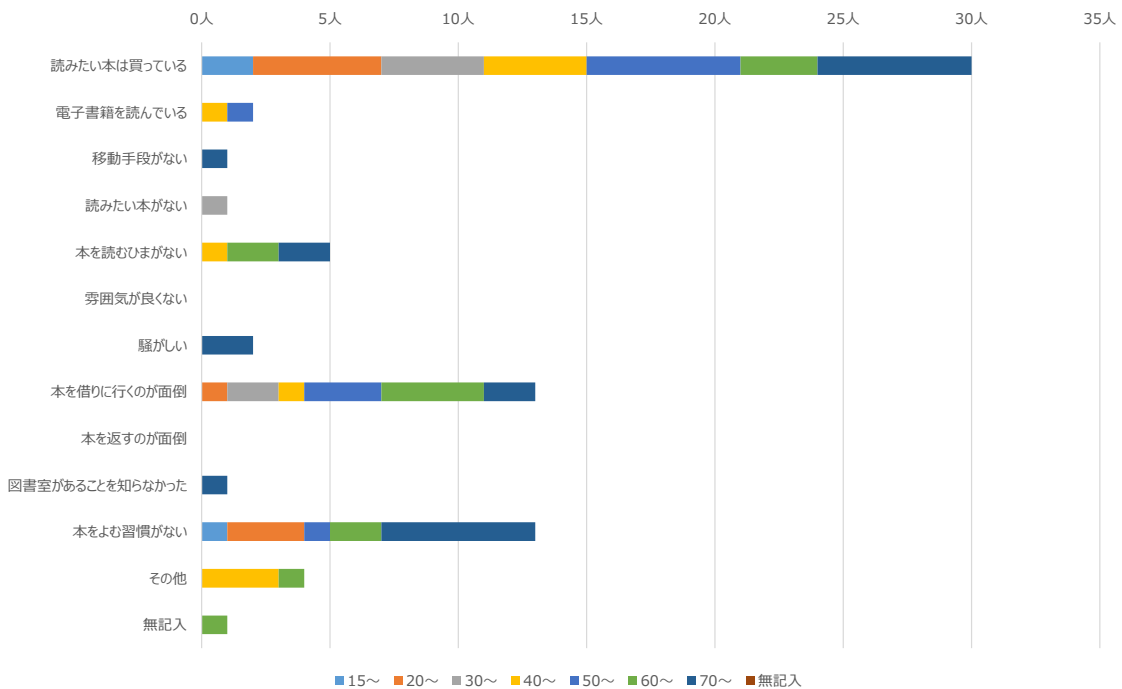
考察
30代以下の方々が図書室を利用する割合が多い。

問9 問8で「ある」と答えた方にお聞きします。図書館の利用目的は何でしたか？



考察
 主な利用目的は「本の借用・返却」であるが、15～30代、60代は「勉強・調べ物」で利用している割合が多い。

問10 問8で「ない」と答えた方にお聞きします。利用しない理由は何ですか？



その他 ・遠い ・図書館まで遠く感じる ・時間がない ・一冊を読破するまでの期間にバラつきがあるため

考察
 「本を借りに行くのが面倒」という人、「読みたい本は買っている」人の割合が多く、図書館に来て本を借りるという手間が大変だという様子が見られる。

問11 読書活動や図書室について、ご意見やご要望がありましたら教えてください。

- ・斜里町図書館の取り組みを調べてみてください、本も出ています
 - ・青苗に返却場所があるといい
 - ・図書室に司書がいた方が借りたり返したりしやすい。
 - ・借りる・返却が遠くて中々行きづらいので、近場で受け取りや返却ができるようになると更に借りたいと思います。
 - ・豊富な図書の数で関心します
 - ・図書室はとても過ごしやすいので学生さんや若い人たちに活用して欲しいです。イベントも増えたらいいです。
 - ・快適な場所なのでまた利用します。
 - ・海側から見ると昼間やっているのか（開いているのか）しまっているのかよくわからない。（ほとんどカーテンが降りている）
 - ・青苗地区から海洋研修センターに行くのが大変であるので、月1回位移動図書があると良いと思います。返却は支所へ
 - ・奥尻に来てから2年ほどなのでアンケートに答えられないところがあった
 - ・小、中、高と、町の図書館どこでもかりたり、返したりできるとよいと思います。だれでも使えて、どこでもかりたりかえたりできるのが理想です。
 - ・パソコンを利用できるのは良い。もっとパソコンの環境を充実していただけるといい。
 - ・自分が読書の楽しみを知ったのは社会人になってからで、子供の時はマンガばかり読んでいました。
- 沖縄の友人が子供と一緒にシェークスピアを読んでいると聞いた時は驚きました。
- 函館の蔦屋のような所があればいいなと思います。ミニチュアでもいいから。

奥尻町読書活動推進計画策定に関わる学校アンケート まとめ

Q1 貴校ではどのような読書活動を実施していますか。

- ・図書館の管理運営
- ・読書指導
- ・朝読書、ブックトーク週間
- ・おすすめ本紹介カード
- ・読み聞かせの企画・運営（読み聞かせボランティア「うみいろ」社教を通して連絡）
- ・朝の読書（10分）
- ・図書の紹介（ポップなど）
- ・各学級→朝読書、国語科の読書紹介の単元への取り組み、高学年が低学年に読み聞かせ
- ・委員会（児童）→本の貸し出し、読み聞かせ、おすすめ図書の紹介
- ・道立図書館との連携→朝読ブック、大量本の貸し出し、ブックフェスティバルの開催、
図書室運営の指導、助言

Q2 貴校の図書室（スペース）の本はよく利用されていますか？当てはまるものに○をつけて下さい。

とても利用されている

利用されている

あまり利用されていない

利用されていない

よくわからない

Q3 図書室(スペース)の利用を増やすためにしていることがあれば教えてください。

- ・教科における読書への発展的活動を意欲的に取り上げる。
- ・目的や発達段階に応じた適切な指導を進める。
- ・低学年では読み聞かせを行うなどして、読書のおもしろさや楽しさを味わう。
高学年では、様々な活動を通して、読書への意欲の向上に努める。
- ・興味をもてるような内容の本を購入したり、生活的関心を読書に結びつけたりするなど、興味関心をもたせる指導の工夫をする。※ブックトーク・読み聞かせボランティア
- ・図書の紹介
- ・図書の配架を整えるポップ
- ・おすすめの本の紹介、新刊図書の掲示の工夫、児童によるよびかけ、児童がよく見るスペースに人気の本を掲示

Q4 学校の図書室運営で大変なこと、困っていることがあれば教えてください。

- ・在庫の管理、処分方法
- ・古書や多分見ないだろう日焼けした本類の扱い
- ・昨年の夏に、図書データを作成することができたが、貸し出し状況などを把握するのがまだ難しい状況にある。
- ・図書の配架を整える作業…現在、配架がやや散乱している。またスペースを確保するための廃棄対象本の選択など。
- ・本の登録、購入図書の選定、どの本を廃棄するか（廃棄の選定）

Q5 海洋研修センター図書室との連携についてご意見要望がありましたらお聞かせ下さい。

- ・可能ならば…人・もの・時間は必要ですが…
 - ①巡回図書貸し出し（2～3ヶ月に1度程度：コンテナに教科書関連本の配付・回収）
 - ②図書室司書参加型のブックトーク週間の協力・派遣
 - ③図書室司書による保護者への読書推進運動の働きかけ（各校の参観日や単P研で実施）
- ・昨年は本校（奥尻中学校）の図書作業にお力添えいただきありがとうございました。今後ともこうした連携を続けていければ幸いです。
- ・青苗は、図書室まで距離があるので、データベースで借りたい本を検索するようなシステムがあるといいなと思います。

北海道立文学館 出前講座



R3 クレヨンカンパニー（人形劇）



R7 絵本パフォーマー 岸田典大さん読み聞かせ

奥尻町読書活動推進計画(第2次)

【令和8年度～令和12年度】

令和 8年 3月

発行 奥尻町教育委員会

担当 社会教育係

奥尻郡奥尻町字奥尻314番地地先

TEL 01397-2-3890